

学生・保護者・教職員・学校関係者 各位

当校においても、6月19日、7月10日の2日間で、新型コロナワクチン接種を希望する学生・教職員が、接種を完了することができました。心配された副反応も1～2日で緩和し、ほっとしたことと思います。

ワクチン接種を受けることにより、新型コロナウイルス感染症の発症や重症化を予防することが期待されます。ここで十分に認識しなくてはならないことは、

①ワクチン接種を受けた人であっても、新型コロナウイルスに感染する危険はある。

②ワクチン接種をすることで、他の人への感染をどの程度予防できるかはまだ分かっていない。ということです。ワクチン接種後も感染する可能性はあり、感染しても無症状や軽症であるために、知らないうちに他の人へ感染を広げる恐れがあります。

2回目の接種から2週間程度でワクチンの効果が得られるといわれていますが、これまでの感染予防行動を緩めることなく、同様に継続励行する必要があります。

さらに、現在、東京では新規感染者が激増しています。また、県境を越え、東京に多くの人が移動する神奈川県、埼玉県、千葉県でも感染者が急増しています。

感染状況を示す6指標の一つである「人口10万人当たりの1週間の感染者数」が、ステージ4(25人以上)に相当する都道府県は、東京都(44.67人)、沖縄県(26.58人)、神奈川県(26.21人)、ステージ3(15人以上)に相当するのは、千葉県(21.11人)、埼玉県(17.99人)、大阪府(17.14人)です(2021.7.16現在)。すでに、新型コロナウイルス感染症の第5波が広がりはじめています。

これから、オリンピック、夏季休暇、お盆休暇等により、全国的に人の移動が多くなることが予測されます。ウイルスは人によって移動していることを再認識してください。

ワクチンの接種率が高くなれば集団免疫が得られ、社会・経済活動の制限も次第に緩和されますが、現状での緩和は困難です。

現在の感染者の多くは、10代、20代、30代の若年層です。若い人が重症化しない一方で、ワクチン接種が進んでいる高齢者の重症者は減り、40代・50代の基礎疾患を持つ人の重症者が増えています。

ワクチン接種を済ませたことで決して油断することのないように、大切なご家族や友人、知人の命を守るため「感染予防対策」を遵守してください。私たちひとりひとりの感染予防行動が、第5波の拡大阻止に繋がっていきます。

2021年7月16日

渋川看護専門学校 学校長 井口千春